

にけーしよん

10/3 連合婦人会なかよし運動会

御荘B&G海洋センター体育館で、「第3回愛南町連合婦人会なかよし運動会」が開催され、町内の婦人会員約60名が参加し、ボール運びやパン食い競争、サイコロゲーム、玉入れなどの競技や、城辺地域会員による唐獅子や一本松地域会員による腹芸などの余興も行われ、笑顔あふれる楽しい運動会となりました。



パン食い競争

腹芸

10/8・9 第2回サロン・オーケストラ・コンサート



本町御荘平城出身でコントラバス奏者の吉本宗司しゅうじさんによる「第2回サロン・オーケストラ・コンサート」が御荘文化センターで開催され、約550名の来場者が「シンコペーテッド・クロック」「クラブフェンの森で」など管弦楽の生演奏を楽しみました。

前日の8日には、吉本さんの母校である平城小学校でもサロンコンサートが開かれ、全校児童がプロの生演奏を楽しみました。児童たちは、指揮者に挑戦したり演奏に参加したりと楽しい時を過ごしました。

吉本さんは、かつてのヨーロッパのような「自然に音楽と触れあえる」環境を日本でも作るため、日々演奏活動をされています。吉本さんの今後ますますのご活躍をお祈りします。

うみびより 本日!海日和!!

「南の海からの来町者」

愛南の海には、たくさんの熱帯魚の子どもたちが、黒潮に乗って南の海からやってきます。ここに住みつき、成長して私たちの目に留まるのは、秋になるころからです。秋の海は、南国からの来町者でにぎわっています。しかし、冬の寒さに耐えられず、多くの魚たちが死んでしまいます。このような魚たちを死滅回遊魚(学術的には無効分散)とよびます。

写真のニシキフウライウオは、ダイバーに大人気の魚です。秋になるとよく見られていたので、死滅回遊魚でないかと考えていました。しかし、今年は6月からオスとメスがペアになって仲良く泳いでいたり、8月には産卵したメスが卵を大切に抱いていたりする姿が見られました。温暖化の影響で、愛南町の住人になることができたのかもしれないね。

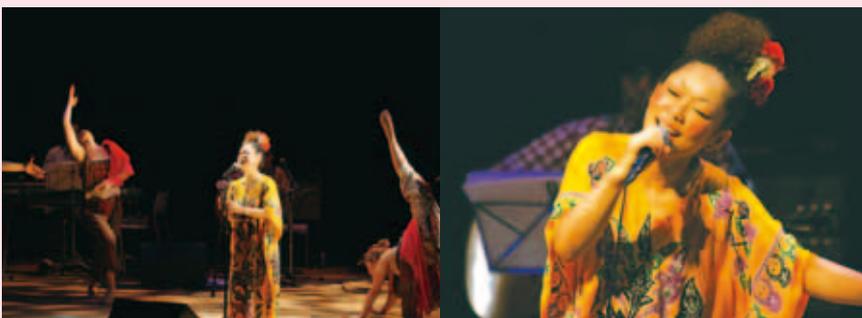


(撮影:2010.6.27 鹿島 水深15m) 環境省自然公園指導員 西尾知照(中浦小学校教諭)

愛南こみゆ

9/11 ふるさと愛南町への想い!テノヒラワンマンライブ

広報あいなん9月号で紹介した、本町城辺出身の菊田朱美さんがボーカルを務めている「テノヒラ」の「ワンマンライブ」が、御荘文化センターで開催されました。菊田さんは、故郷に住む子ども達に近くで生の音楽を聞いて欲しい、今までの活動を故郷の活性化に役立てたいと愛南町でのコンサートを決意し、今回実現させました。ダンスと音楽という組み合わせの新しいステージパフォーマンスに、超満員となった会場は大いに盛り上がりました。



魂の叫びともいえる菊田さんの熱唱に、多くの方が「勇気」と「元気」をもらったのではないのでしょうか。菊田さんには、さらに夢の実現へ向けて一歩一歩進んで欲しいと思います。

9/13 CUT 髪ボランティア2010

9月20日の「敬老の日」を前に、南宇和理容美容組合(吉村則男代表)の有志の皆さんが、地域社会への貢献活動の一つとして町内6か所の老人福祉施設の入所者を対象に、恒例のカットボランティアを行いました。

【参加された方々、敬称略】

山本安宅、円城寺正敏、本多計章、瀧口賢一、久徳耕一、松本久也、大西加代子、山本淳子、平田真衣子、幸田リエ、山本一成、菊池高幸、吉田浩史、辰巳正雄、富田一二、山中知雄、船平丘子、宇都宮悦、宇都宮典子、福留浩子、橋本スズ子、立花昌実、吉村則男、幸田達人、鎌田順子、藤堂雅代、立石和子、宇都宮睦子、宮本節子、山口ふさ美、宮本由実



9/26 西海ふれあい公園「観月和太鼓まつり」

西海ふれあい公園(榎月)で、「南国に花咲く森をつくり隊(流水陽子代表)」主催による「観月和太鼓まつり」が開催され、約600名の観客が迫力ある和太鼓の魅力堪能しました。

地元福浦小学校の「風の子太鼓」をはじめ、宇和島市鶴島老人クラブで構成している「護法太鼓」、日本一の大きさの樹根太鼓でおなじみの津島の太鼓集団「雅」、最後に世界を舞台に活躍している石川県の女性だけのプロ奏者「焔太鼓」が、全身全霊を込めた和太鼓の演奏を披露し、普段家族連れで親しまれている公園は、大勢の観客で大いに賑わっていました。



焔太鼓

風の子太鼓

護法太鼓

太鼓集団「雅」